

えびはら直矢市政報告

発行人 海老原直矢

〒362-0026 上尾市原市北一丁目 14 番地 9 TEL. 048-716-7323
E-mail. ebihara116@gmail.com <https://www.ebihara-naoya.com/>2025年第7号
2025.12.20

相続した土地の国への引き渡し 荒廃する農地や宅地を生まないために 国の『相続土地国庫帰属制度』活用のための補助制度が必要

市長選挙と市議補欠選挙があった関係で、令和7年12月定例会は、12月25日から1月23日まで開催されます。今回は、補正予算や指定管理者の指定などについて審査を行います。

今定例会の一般質問では、荒廃した空き地が生まれる原因の一つとなっている土地の相続の問題について取り上げる予定です。

令和5年度に国は相続などによって土地の所有権などを取得した人が国への引き渡しを申請することができる『相続土地国庫帰属制度』をスタートしました。これは、相続した農地や宅地などが管理されずに放置されることが全国的な課題となっていることに対応したものですが、上尾市をはじめとして制度の活用は進んでいません。その一方で、申請したものの半数は帰属が認められています。

この原因の一つに、申請のために1筆あたり1万4千円の手数料が発生することがあります。これに対して一定の補助をすることにより制度の利用を進めることができると考えます。

相続された農地などを荒廃する前に国の所有とすることは、農地の集約化にも資するとも考えています。この農地の集約化と高付加価値化についても、白岡市の民間企業との連携の事例などをもとに取り組みを進めることを求めていく予定です。ぜひ傍聴にお越しください。



キーワード

相続土地国庫帰属制度

相続などで取得した本人としては活用の見込みがない土地を国庫に引き渡すことができる制度。

所有者不明土地の発生が全国的な課題となっていることに対応するもので、一定の要件を満たす土地を国に譲渡することができる。譲渡には申請手数料や負担金が必要となる。



データでみる

国庫帰属が認められた土地

申請したもののうち約半数が帰属を認められている

申請

| | |
|-----|---------|
| 総数 | 4,556 件 |
| 田・畠 | 1,755 件 |
| 宅地 | 1,588 件 |
| 山林 | 715 件 |
| その他 | 498 件 |

帰属

| | |
|-----|---------|
| 総数 | 2,145 件 |
| 農用地 | 697 件 |
| 宅地 | 784 件 |
| 森林 | 132 件 |
| その他 | 532 件 |



(出典)法務省『相続土地国庫帰属制度の統計』

一般質問は1月16日(金) 午前9時30分より行います。

傍聴にお越しください。また、インターネット中継でもご覧いただけます。

(<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/ageo/WebView/rd/council.html>)



市民の声を形に

令和7年12月定例会一般質問

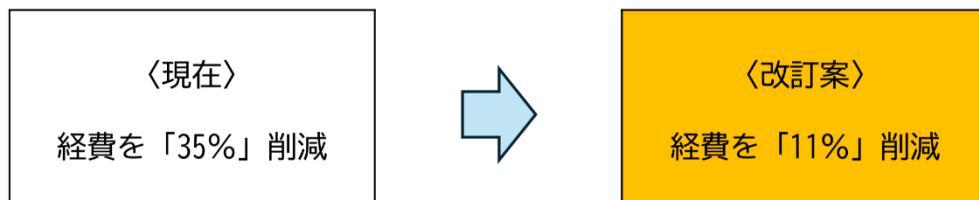
質問予定

①まちづくり(公共施設・土地利用)、②ごみ処理・し尿処理

12月18日の全議員説明会において、『上尾市公共施設等総合管理計画』の改定による、公共施設の削減目標の見直しについて説明がありました。これにより、「経費の35%」とされた公共施設の削減目標は、11%に大幅に縮小されます。これは私が一般質問において繰り返し主張してきたもので、見直し自体は良いことであると考えます。その一方で、これまでの総括や、今後の個別の施設の計画にどのように影響が出るかについては説明が不充分です。

今回の一般質問では、この公共施設の削減目標の見直しについて、市民生活の向上につながるものとなるようしっかりと確認をしていきたいと思います。

| 項目分類 | 計算式 | 削減率 |
|------|---|------------------|
| 現在 | $\frac{\text{更新費用推計の年平均}}{\text{決算額の年平均}}$ | 44.8／29.3 35% |
| 改訂 | $\frac{\text{更新費用推計の年平均}}{\text{「決算額」 + 「財政収支の見通しの年平均」}}$ | 46.9／41.8 11% |



令和7年12月定例会議案

〈103号〉一般会計補正予算(第8号)

今定例会に提案されている議案についてご説明します。



補正予算額
9億4,196万3千円

主な事業

| 事業名 | 予算額 |
|---|-------------|
| 国の総合経済対策として、子育て世帯を支援するため『物価高対応子育て応援手当』を支給 | 6億8,873万3千円 |
| 小中学校給食調理室の空調整備 | 7,900万2千円 |
| 子育て支援センターをこども保健センター内に一時移転するための経費 | 103万5千円 |

えびはら直矢プロフィール

昭和62年12月3日生まれ。

- 上智大学法学部卒
- 首都大学東京社会人人類学教室修了。
- 国連 UNHCR 協会職員などを経て、衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わってきた。2017年、上尾市議会議員に当選(現在3期目)。都市整備消防常任委員会委員、議会運営委員会委員、上尾、桶川、伊奈衛生組合議員、環境審議会委員など。家族:妻、長男(10才)、長女(9才)、次男(7才)

市政へのご意見やお困りごとがございましたらお気軽にご連絡ください →FAX 048-677-1676

お名前

ご連絡先

ご意見やお困りごとなど